



広報たはら

Tahara

田原市ホームページ <http://www.city.tahara.aichi.jp>

2015
平成27年

5.15

水面に映えて
山笑う！

目次

「しみんの広場」

全国親子クッキングコンテスト

今月の花「レイコのコレイいね」

地域の話題

市民活動を応援するページ

スクールリポート

学校生活の一コマを紹介

地域が守る

安心して暮らせる安全なまち

連載コーナー

おしらせ

歴史探訪クラブ

2

6

7

8

10

12



しみんの広場

CITIZEN'S PLAZA

もくじ

- 全国親子クッキングコンテスト……………2ページ
- 全国親子クッキングコンテスト・今月の花……………3ページ
- 地域の話(清田校区)……………4ページ
- 市民活動を応援するページ……………5ページ



全国親子クッキングコンテスト

渥美半島を感じる私の食卓

渡曾親子準グランプリ!



1月25日に大阪市で開催された「全国親子クッキングコンテスト」で応募総数46,046組の中から見事、準グランプリを受賞した渡曾洋子さん(右)・裕菜さん(左)親子【写真:中部ガス(株)提供】

全 国親子クッキングコンテスト

で、準グランプリ3組のうちの1組に伊良湖岬中学校1年(当時堀切小6年)の渡曾裕菜さん親子が選ばれました。

全国大会では、地区大会などを勝ち抜いた15組30名の親子が「わが家のおいしいごはん」家族で一緒に作るう、うちの自慢メニュー」をテーマに腕を競いました。

渡曾さん親子は、「渥美半島を感じる私の食卓」と名付けた、地元渥美半島の新鮮な魚や野菜を使用した「伊良湖岬の魚とミニトマトのアクアパッツア」など、料理6点を作りました。

今回は、渡曾さん親子に、料理への思いやコンテストでの苦労など、お話を伺いましたので、ご紹介します。



▲準グランプリを受賞したレシピ

◆家族みんなが食べるの大好き

【洋子さん・母】両親ともに食に携わる仕事をしています。父親がさばいた刺身を使って、家族みんなでオリジナル海鮮丼を作り、どれが一番おいしそうかを競ったり、サラダを誰が一番きれいに盛り付けられるかを競ったり、楽しみながら食への興味を持つことができる環境でした。

◆料理を始めたきっかけ

【裕菜さん】小学2年生の時、学校の食育フォーラムで、学校の畑で採れた大根でおでんを作った時、料理って楽しいなと思ったのがきっかけです。

兄も料理が好きで、母が仕事でいない時はお昼にチャーハンを作ったり、試行錯誤しながらうどんを作ったりしているのを見ていて、手伝っているうちに自然と料理をするようになっていきました。

◆クッキングコンテストへの出場

【裕菜さん】クッキングコンテストに応募したきっかけも、兄が出場したのを見て出たいと思ったからでした。

伊良湖港が家から近く、新鮮な魚が身近に手に入ります。魚をメインにしようと思いました。毎日同じ魚が水揚げされるとは限りません。コンテスト前の1週間は、伊良湖港に水揚げされる魚を毎日買い取り、アクアパッツアにする魚を選びました。

田原市は、農業も漁業も盛んで、旬の食材が手に入ります。新鮮なトマトやブロッコリー、キャベツは、野菜のうまみを生かすためシンプルに料理しました。

料理は、見た目も大事なので、お皿やランチョンマットを持ち込み、見た目も食べたくなるような工夫をしました。

◆将来の夢

【裕菜さん】料理人になりたいです。これから、いろいろな料理に挑戦して、もっと料理が上手になりたいです。

◆お母さんから娘へ

【洋子さん】私の母が、保育園の調理師で、家に人が来たときにもてなすのが上手な人でした。そんな母の姿を見て、自分も料理の道へと思い、栄養に関する学校へ進学し、食に携わる仕事に就いています。

そんな私を見て育った娘が、料理人になりたいと思ってくれてとてもうれしいです。田原産の新鮮な食材や、こだわりの調味料などを一緒に試し、どんな料理に興味を持ってもらえたらなあと思っています。



▲準グランプリ受賞の喜びを語る渡曾親子

▼農政課

☎23局3517

今月の花

レイコの花いいね 11

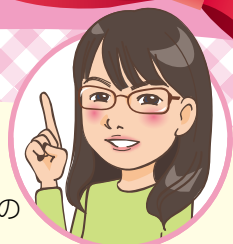
▶農政課 ☎23局3517

◎ウエディングに華やかなマム(菊)を



田原市の花の生産量の多くを占め、全国でもトップクラスの生産量を誇る菊ですが、お葬式のイメージを持たれる方も多いのではないのでしょうか。

しかし、最近では様々なシーンでマム(菊)が活躍しています。特にスプレーマムは花形や花色が豊富にあり、田原市では新品種もたくさん栽培されています。結婚式では、カラフルなスプレーマムがウエディングブーケや髪飾りなどに使われ華やかさを演出しています。田原市のスプレーマムは年間を通して栽培されているので、季節を問わず使うことが出来るのも魅力です。マムだけを使ったマムウエディングを行ってみるのも素敵かもしれませんね。



5月の 渥美半島の花と鉢花



カスミソウ

(花／出荷時期:10月～6月)

花ことば

清らかな心

花束などに欠かせない花で、県内1位の生産量、約150万本出荷されています。



アジサイ

(鉢花／出荷時期:3月～6月)

花ことば

移り気、冷淡

梅雨に華やかさを添える花で、県内1位の生産量、約160万鉢出荷されています。



▲「里山ウォーク」で泉福寺からタコウ山へ。地域の大切な資源です



▲レンゲ田で遊ぶ子どもたち

地域の話題

清田校区

地域の宝を掘り起こし、受け継いでいく

地域の歴史や自然を再認識しようと
活発な活動を行っている

清田校区コミュニティ協議会からお便りが届きました。

レンゲ田が見事に復活

広報たはら平成26年10月15日号の
この頁で、この取り組みについて掲
載しました。

昨年9月、子どもたちと高齢者が
交流を深めながらレンゲの種をまき
ました。あれから7カ月が過ぎ、レ
ンゲは見事な花を咲かせました。

その様子を一目見ようと田んぼを
訪れた子どもたち。花に顔を近づけ
て香りを楽しんだり、花を摘んだり
しながら、元気いっぱいレンゲ田
を走り回りました。

あふれる自然と歴史

清田校区は、校区内に海と山と川
があり、豊かな自然に恵まれた地域
です。夏には、免々田川にホタルが

地域発

飛び交い、冬晴れの日には、タコウ
山から遠く南アルプスや富士山を
眺めることができるなど、四季折々
の楽しみがあります。

免々田川の源流に位置する泉福寺
は、平安・鎌倉時代には、比叡山延
暦寺の直来寺としてこの地方の天台
宗寺院の中枢として栄えました。江
戸時代には、2代將軍秀忠が鷹狩り
の際に宿泊所にするなど、渥美半島
内でもっとも歴史のある寺の一つと
されてきました。

これからは、そんな地域の歴史や
自然に注目しながら、地域の宝を掘
り起こし、大切にしていきたいと思
います。

今年度は、地域の宝である泉福寺
に注目し、写真展や講演会・現地説
明会（12月6日）を開催します。



▲正面、南側から撮影

▼焼失前の泉福寺。東側から撮影



求ム!

焼失前の泉福寺の写真を
探しています

お持ちの方やどこにあるかご存じ
の方は、ご連絡ください。
▼清田市民館 ☎33局0783





市民活動を応援するページ



市民活動紹介

田原アレルギーっ子の会

みんなで知ろう 食物アレルギーのこと

食物

アレルギーのある子の親同士の交流や情報交換を目的に設立しました。1～2カ月に1回、田原福祉センターにて情報交換会を行ったり、啓発活動や勉強会などを行ったりしています。

アレルギーのある子は、平常時、災害時にどのような対策が必要なのでしょうか。

アレルギー疾患があっても安心して暮らせる地域づくりのため、市や病院などとも連携・交流できるネットワークづくりを目指して活動をしています。皆さんも、食物アレルギーについて一緒に考えてみませんか。



講演会「みんなで知ろう 幼児の食物アレルギー」

日時：6/13 10:00～11:30

場所：田原福祉センター3階 大会議室

講師：村田浩章氏（渥美病院 小児科部長）

食物アレルギーの最新の情報、適切な治療方法などをご講演いただきます。

定員：80名

入場料：無料

託児：10名まで（先着順）

申し込み：5/30までに氏名・連絡先（電話番号・メールアドレスなど）・託児の有無を明記のうえ、メールにて

▶申し込み先：田原アレルギーっ子の会

☎090-3582-7385（皿井）✉taharaale@yahoo.co.jp

活動支援情報

市民活動支援センターの印刷機をご活用ください！

市民活動団体支援の一環として、皆さんにお使いいただける印刷機を設置しています。活動紹介や会員募集のチラシ印刷などにご利用いただけます。

●設置場所 田原文化会館1階 フリースペース印刷室

●印刷機能 紙原稿、データ原稿（USBメモリ）／白黒または赤黒2色

●利用時間 市民活動支援センター開設日（火・金曜日／午後1時～6時、土曜・祝日／正午～午後5時）※文化会館休館日・その他市が指定する日を除く。

●利用料金 1団体1回300円（印刷用紙は利用者が用意／原則50～7千枚）

●利用登録 市民協働課および市民活動支援センターにある申請書に会員名簿、規約などを添えて市民活動支援センターへ提出してください。申請書は市および市民活動支援センターホームページからダウンロードできます。

※利用できるのは、次のいずれの要件も満たす団体です。

- ・5人以上で構成されている団体
- ・市内に活動拠点があり、主に市内で市民公益活動を行う団体
- ・民主的な運営と適切な会計処理がなされている団体



Facebookを始めました！



<https://ja-jp.facebook.com/people/Shimin-Tahara/100009289490676>

田原市民活動支援センターでは、新たにフェイスブックを始めました。市民活動団体さんの活動情報やイベント情報、田原市が実施するイベント情報などを発信します。ぜひご覧ください。

田原市民活動支援センター

HP <http://www.city.tahara.aichi.jp/kyoudou/>

☎22局1111（内線812）※開設時間のみ

FAX 23局0180 ✉shiminkatsudo@city.tahara.aichi.jp

メールマガジン配信中です！

センターから市民活動に関する新鮮な情報を随時、お届けします。配信ご希望の方は、メール本文に「メール配信希望」とご記入の上、左記センターアドレスへメール送信ください。





スクールレポート

SCHOOL REPORT 80

学校生活の
一コマを紹介

今回は、伊良湖岬中学校区3小学校の統合までの1年間の歩みをお知らせします。

●学校教育課 ☎ 23局3679

伊良湖岬中学校区3小学校 統合までの1年間の歩み

3校児童仲間づくりの一步

3小学校の児童の多くは、伊良湖岬保育園で一緒に生活していました。小学校入学時に3つの小学校に分かれ、中学校でまた一緒になるようになったのは、現在の中学2年生からです。

3校の統廃合に向け、3校合同での活動を計画し、学年ごとの交流を進めてきました。昨年度の前半は社会見学や校外学習を中心に、後半は交流学習を中心に、お互いを知る機会になりました。



▲交流学习の様子

児童の
感想

他の校区で、地震や津波が起こった時、危険な場所がたくさんあるのにびっくりしました。



▲昔のアルバムを見て懐かしむ参加者

閉校記念式典

2月、地域と学校中心に、それぞれの閉校記念式典を行いました。校区会長からのあいさつに続き、教育長からは、「児童や保護者、教職員のアンケートをもとに、岬地区の子どもたちの長所としての素直さや明るさを生かしながら積極性や自分の考えを伝えてほしい」とあいさつがありました。

その後、各学校の歴史を振り返り、児童が写真を利用して発表したり、地域の各世代の代表者に思い出を語っていただいたりしました。また、子どもたちの演奏や合唱なども披露されました。座談会では、昔のアルバムや文集を子どもたち

と見ながら、昔と今の学校の様子の違いを知る機会にもなり、児童にとっても思い出に残る時間となりました。

児童の
感想

大切な式なので真剣に聞きました。少しずつ昔のことを考えながら聞きました。思い出の発表を聞いていると昔のことがよく分かったし、今と比べることができました。座談会で、お母さんやお婆さんの文集がありました。校長先生や来賓の話を聞いて、ぼくたちが最後の最後の児童なんだなと思いました。

3校の児童を迎えるために

5年後に新しい伊良湖岬小学校の校舎が伊良湖岬中学校の跡地付近に建てられるまでの期間は、現在の和地小学校の校舎を利用します。平成26年度の児童数が60名の和地小学校に、平成27年度には178名の児童が入るため、不足する教室や手洗い場、トイレなどの増改築が昨年7月から行われました。

また、伊良湖小学校や堀切小学校の児童を中心に、スクールバス利用の登下校が始まるため、そのコースやバス停の決定、通学路の点検なども進め、4月から学校生活が始まっています。



▲スクールバス利用の練習をしました

▼整備された設備
(手洗い場)



地域が守る

安心して暮らせる安全なまち



田原市では、市内すべての地区に自主防災会が組織され、それぞれの地域特性に合った防災活動に取り組んでいます。ここでは、平成26年度の「自主防災活動重点支援地区」として、田原東部校区と赤羽根校区が取り組んだ活動をご紹介します。

▼防災対策課 ☎23局3548

自主防災会活動【事例紹介①】

田原東部校区

谷熊
やぐま台

【人口・世帯】…H27年3月末現在
1416人・461世帯（両地区計）

【概要】

市の東部、豊橋市杉山町との市境界に位置し、北側は田原湾に面しています。そして、その田原湾に面した谷熊地区は、津波による浸水が予想される地区となっています。

【取り組みテーマ】

家庭から防災対策を充実しよう！
〜できるところから一つずつ〜

【主な取り組み内容】

- 1 自主防災活動アンケートの実施
- 2 基本の再確認！一啓発チラシの配布
- 3 家具固定講習会 など

【取り組み成果】

自分たちの街の防災力をあらためて見つめ直し、多くの課題を発見し、対策に励みました。

また、自主防災会一斉訓練には将来の担い手である子どもや若者にも多く参加してもらい、地域全体で取り組むことができました。

【今後の目標】

さらに地域防災力の底上げをしていきたいです。また、近い将来、街の中を実際に使って消火訓練や救助訓練、搬送訓練を実践する「発災型対応訓練」が実施できるように、体制づくり、土台づくりをしたいと思います。



●自主防災会防災訓練（やぐま台）



●自主防災会防災訓練（谷熊）

自主防災会活動【事例紹介②】

赤羽根校区

【人口・世帯】…H27年3月末現在
2437人・785世帯

【概要】

市の中央南部、太平洋に面した農業地帯です。全国から多くのサーファーが集まります。海岸の崖は高く、集落への津波の心配は少ないものの、一部の住宅や農地に低い場所もあり、対策が急がれます。

【取り組みテーマ】

命を守る防災

【主な取り組み内容】

- 1 防災マップの更新
- 2 防災世帯台帳の更新
- 3 親子ふれあい活動における津波避難訓練 など

【取り組み成果】

子どもたちも含めた地域全体で取り組むことができ、特に「自分の命は自分で守る」という子どもたちの防災訓練は、親の防災意識の

向上にも効果があると感じています。

【今後の目標】

「防災意識のさらなる向上」とともに、「地域の絆を深めること」があげられます。

【例】十丁（回覧板の単位組織）の組織強化

これを強化することで、災害など困難な状態に直面したとき、「近所の底力」でスムーズに対応できると考えます。また、平常時における、高齢者対策などにも有効だと考えます。



●防災マップの更新作業



●津波避難訓練

広がる未来へ

たはらエコ・ガーデンシティ構想

107

「夏季ライトダウンキャンペーン」 参加事業所を募集します！

ライトダウンキャンペーンとは、市内のライトアップ施設や事務所などの照明を消すことで、日ごろいかにエネルギーを使用しているのかを実感し、地球温暖化問題について考えてもらう活動です。職場だけでなく、家庭でもライトダウンにご協力ください。

◆対象 市内事業所など

◆内容 6月22日(月)～7月7日

(火)／午後8時～10時の2時間、施設照明などを消灯

◆申し込み 6月11日(木)までに環境政策課にある申込書に必要事項を記入のうえ、直接またはFAX・郵送にて／登録票は市ホームページからダウンロード可

◆その他 参加事業所数などの実施状況を市ホームページにて公表

◆「たはらエコチャレンジ宣言」とは？

毎月、「広がる未来へ」で登録者数を掲載しているたはらエコチャレンジ宣言。

現在、207名(個人)、44事業所の皆さんにご登録いただいています。

これは、毎日の暮らしの中で、省

エネに取り組むことで、地球温暖化に向き合い、環境に配慮したエコライフを推進するものです。

皆さんも、たはらエコチャレンジ宣言に登録して環境にやさしいエコライフを始めてみませんか？

◆登録方法

- 登録シートに氏名・住所など必要事項を記入し、家庭でできる省エネ取組内容の一覧で、自分でもできると思うものにチェック。※登録シートは市役所環境政策課窓口で配布しています。(市ホームページからもダウンロード可)
- 登録シートを環境政策課窓口へ提出。後日、登録証と記念品を郵送。

▼たはらエコガーデンシティ地域協議会事務局(環境政策課内)

☎23局7401 FAX23局0180

HP <http://www.city.tahara.aichi.jp/>

◆これまで107回にわたって連載してきた「広がる未来へ」は、今回をもって連載を終了し、7月15日号から「環境けいじばん」としてリニューアルし、環境に関する情報をお伝えしていきます。

環境戦隊たはらエコレンジャー 環境けいじばん 32



ゴミゴミとリサイクルレンジャー

家庭から出る生ごみの減量を推進するため、電気生ごみ処理機を無料で貸出しています。今回は、貸出方法についてご紹介します。

◆機種

機種	台数	外形寸法	本体質量	最大処理量
2～4人家庭用	3台	幅268mm×奥行365mm×高470mm	約11kg	1回約1.0kgまで
2～6人家庭用	2台	幅268mm×奥行365mm×高550mm	約12kg	1回約2.0kgまで

◆期間

最大4週間(1世帯1台限り)

◆条件

- 市内に在住で、屋内に処理機の設置場所があること。
- 処理機の受け取りおよび返却が自分

で行うこと。

●処理機の電気代を負担すること。

●貸出期間終了後、アンケート調査にご協力いただけること。

◆手順

●予約受付

事前に廃棄物対策課へ電話し、予約をしてください。

●申し込みおよび貸出し

貸出開始日に、印鑑と身分証明書(運転免許証・健康保険証など)を持参のうえ、廃棄物対策課へお越しください。処理機を渡しますので、持ち帰る用意をしてきてください。

●返却

清掃したうえで、貸出期限内に廃棄物対策課へ返却してください。

●生ごみ処理機の購入には補助金制度があります。購入を検討される方はぜひご利用ください。

補助金額は購入額の1/2で、限度額はコンポストが3000円、電気生ごみ処理機が2万円です。

▼廃棄物対策課

☎23局3538 FAX23局0180

交流通信

Exchanges communication

～国内外との交流・多文化共生～

家族みんなで楽しもう！

「海のまち・山のまち交流スタンプラリー」

田原市は、異なる環境を持つ「山のまち」と交流を行っており、国内に3つの姉妹・友好都市があります。

家族みんなで「海のまち・山のまち交流スタンプラリー」に参加し、そのまちの魅力に触れ、新たな発見と感動を体感してみませんか。昨年度実施したスタンプラリーでの参加者の声を紹介します。

●姉妹都市：設楽町（愛知県北設楽郡）

- コンニャク芋や新鮮な野菜を買いによく行きます。
- 道の駅アグリステーションなぐらの2種類の五平餅や、五平餅定食のおいしさにびっくりしました。

●友好都市：宮田村（長野県上伊那郡）

- 中央アルプスを間近に、空気も水も違う気がしました。
- リンゴ狩りは、家族みんなの楽しみになっています。

●友好都市：阿南町（長野県下伊那郡）

- 初めて行きましたが、山の中でリフレッシュできました。



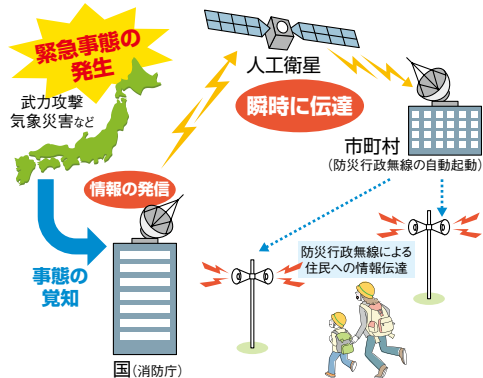
- 道の駅信州新野千石平は、品数や特産物が豊富で何回行っても楽しめます。

海のまち・山のまち交流スタンプラリー

- ▶応募期限＝平成28年3月15日（火）まで（必着）
 - ▶応募方法＝応募用紙に「海のまち」と「山のまち」から各1つ以上スタンプを集め、必要事項を記入の上、直接または郵便にて
 - ▶応募先＝田原市役所 政策推進課
 - ▶賞品＝国内旅行券、カタログギフト券、海と山のまちの特産品、ラリースポット協賛プレゼントなど計200本以上を予定
 - ▶市内ラリーポイント＝田原めっくんはうす、あかばねロコステーション、伊良湖クリスタルポルト、蔵王山展望台、サンテパルクたはら
- ※詳しくは、市役所、渥美支所、赤羽根市民センター、各ラリーポイントにある応募用紙をご覧ください。

▶政策推進課 ☎ 23局3507

J-ALERTの仕組み



こ
んにちは、しろちゃんです。田原市では、地震の発生に備え、全国瞬時警報システム（通称：※J・ALERT）を使用しました緊急地震速報の訓練放送を行います。なお、今回の訓練放送は、全国一斉に行われるもので、国（消防庁）から全国に発信されます。

※J・ALERTとは、地震・津波や武力攻撃などの緊急情報を、国から市区町村などへ人工衛星などを通じて瞬時に伝えるシステムです。

みんなで取り組む防災・減災

防災知恵袋

緊急地震速報の訓練放送を行います

14



田原市では、市内253カ所に設置されている防災行政無線から次の内容で一斉放送を行います。

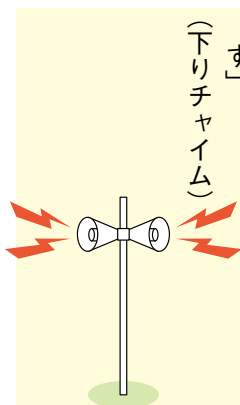
◆実施日時

5月27日（水）
午前10時15分ごろ

◆放送内容

- （上りチャイム）
- 「こちらは広報たはらです」
- 「ただいまから、訓練放送を行います」
- （緊急地震速報チャイム）
- 「緊急地震速報。大地震です。大地震です。これは訓練放送です」×3
- 「こちらは広報たはらです」
- 「これで訓練放送を終わります」
- （下りチャイム）

▼防災対策課 ☎ 23局3548





募集

消費生活相談員養成研修 研修生

県内の消費生活相談窓口において消費生活相談を担うことのできる人材を養成するため、消費生活相談員養成研修を開講します。

▼対象＝消費生活専門相談員の資格取得後、県内の消費生活相談窓口で勤務することを強く希望する方など
※就職を保証するものではありません。
▼募集人員＝25名程度
▼実施時期＝7月～11月（50日程度）

▼場所＝【座学研修】名古屋駅近辺
【実地研修】最寄りの県民生活プラ

ザ（予定） ▼受講料＝無料（修了者には交通費を支給） ▼申し込み＝県ホームページから必要書類を入手・作成のうえ、6月9日（火）までに郵送にて
※詳細はホームページまたは商工観光課で配布する募集案内をご覧ください。
▼県民生活部県民生活課
☎（052）954局6165
HP <http://www.pref.aichi.jp/000067953.html>

生活

「人・農地プラン」更新手続き

「人・農地プラン」は、今後10年間の地域農業の目指すべき姿について考え、地域の合意などを経て定期的に更新します。

このプランへの参加を希望する方は、農政課で手続きをしてください。

なお、国の補助事業（スーパール資金の金利負担軽減措置、青年就農給付金（経営開始型）、経営体育成支援事業）の活用を検討している方は、手続きが必要となりますので、

事前に問い合わせてください。
▼対象＝田原市在住の農業者 ▼内容＝簡単なアンケートへの記入、今後5年間の経営計画作成、個人情報取り扱いの同意 ▼持ち物＝印鑑
▼受付方法＝6月15日（月）までに農政課にて
▼農政課
☎23局3517 FAX22局3817

不妊治療費助成の増額

今年度より、不妊治療を受けているご夫婦の治療の助成額上限を10万円から15万円に増額しました。

▼助成対象＝夫婦の一方または両方が田原市に住所がある方 ▼助成治療＝【一般不妊治療】不妊検査、人工授精【特定不妊治療】体外受精、顕微授精 ▼助成金額＝一年度あたり15万円を上限（愛知県特定不妊治療費助成額を除いた額） ▼申請時期＝【一般不妊治療】3月診療分から翌年2月診療分を翌年3月20日までに申請。【特定不妊治療】治療が終了した月の翌月の末日までに申請。

※愛知県では、専門医師やカウンセラーなどの専門家による不妊、不育について無料相談窓口を設けています。

▼愛知県不妊・不育相談センター（名

古屋大学医学部附属病院内）
HP <http://www.med.nagoya-u.ac.jp/obgy/afsc/aichi/>

▼健康課
☎23局3515 FAX23局3810
▼健康課（あつみライフランド内）
☎33局0386 FAX33局0319

屋外スポーツ施設を 夏季早朝開放します

施設の有効活用の一環として、一部の屋外スポーツ施設の早朝開放を実施します。



▼開放施設＝テニスコート（中央・滝頭公園、渥美運動公園）／野球場（滝頭公園、緑が浜・渥美運動公園）／多目的広場（中央・滝頭公園、緑が浜・渥美運動公園、赤羽根文化広場） ▼開放期間／曜日＝6月16日（火）～9月15日（火）／原則、火～日曜日 ▼開放時間＝午前6時～9時 ▼使用料＝各施設の規定の使用料 ▼申し込み＝5月31日～各施設の窓口で直接申し込み（施設予約システムは不可）
▼スポーツ課（田原文化会館内）
☎22局6061 FAX22局6455

歯の健康フェスティバルを開催します

田原市歯科医師会では、6月の歯と口の健康週間に合わせて、イベントを開催します。

▼対象＝田原市在住の方 ▼日時＝

6月7日(日) 午前10時～午後1時

▼場所＝田原文化会館多目的ホール

▼内容＝歯科健診、フッ化物塗布、

歯並びや歯周病・義歯などの相談、

歯ぐきの健康チェック、小中学生が

描いたポスター展示など ▼参加料

＝無料(申し込み不要)

▼健康課

☎23局3515 FAX23局3810

県立・市立特別支援学校説明会および体験入学

来年度に小・中・高等学校入学予定で、障害があると思われるお子さんとその保護者を対象に、特別支援学校の説明会と体験入学を行います。希望の方は、直接電話で各学校へお問い合わせください。なお、各特別支援学校では、体験入学以外の日にも随時相談に応じています。

◆豊橋特別支援学校(豊橋市西口町)

☎(0532)61局8118

▼期日＝【小・中学部】(体験入学)

6月26日(金)、10月23日(金)【高等部】(説明会) 6月8日(月)

▼対象＝手足の不自由なお子さん

◆豊橋市立くすのき特別支援学校

(豊橋市野依町)平成27年4月開校

☎(0532)29局7660

▼期日＝【小学部】(説明会) 6月

11日(木)(体験入学) 7月22日(水)

10月15日(木)【中学部】(説明会)

6月17日(水)(体験入学) 7月23

日(木)【高等部】(教育相談) 随時

実施【高等部職業コース】(説明会)

6月3日(水)(体験入学) 10月20

日(火) ▼対象＝知的な発達の遅れ

や情緒に障害のあるお子さん

◆豊川特別支援学校(豊川市平尾町)

☎(0533)88局2553

▼期日＝【小学部】(説明会) 6月

23日(火)(体験入学) 7月21日(火)、

10月27日(火)【中学部】(説明会)

6月23日(火)(体験入学) 7月22

日(水)【高等部】(説明会) 5月14

日(木)、5月20日(水) ▼対象＝

知的な発達の遅れや情緒に障害のあ

るお子さん

◆豊川特別支援学校本宮校舎(豊川

市大木町)

☎(0533)93局0515

▼期日＝【高等部】(説明会) 5月

26日(火)(体験入学) 10月8日(木)

▼対象＝知的な発達の遅れや情緒に障害のあるお子さん

◆豊橋聾学校(豊橋市草間町)

☎(0532)45局2049

FAX(0532)47局7545

▼期日＝【高等部】(説明会) 6月16日

(火)午後1時30分～3時20分 ▼対象

＝聴こえやことばに障害のある中学生と

その保護者

◆大府特別支援学校(大府市森岡町)

☎(0562)48局5311

▼期日＝【小・中学部・高等部】(体

験入学) 7月14日(火)、10月22日(木)

▼対象＝病気で入院しているお子さん

▼学校教育課

☎23局3679 FAX22局3811

不正改造車を排除する運動強化月間6月1日～30日

国土交通省は、関係省庁、自動車関係団体などと連携し、6月を「不正改造車を排除する運動」の強化月間として特に強力に運動します。ぜひ、この機会にどのような改造が不正改造になるのか理解を深めていただき、その排除に協力ください。

運動計画

- 全国で街頭検査を計画
- 「不正改造車110番」の設置
- 不正改造実施者に対する立入検査など

- 自動車使用者などへの啓発
- ▼ 国土交通省自動車局整備課
- ☎(03)5253局8600

海洋環境保全推進月間6月1日～30日

- 未来に残そう青い海
- 海に釣り糸、空き缶、弁当容器などのゴミを捨てない。
- 海に流れ込む河川にゴミをすてない。大雨などの増水で海に流れます。
- 使用しなくなったボートなどは放置せず、適正に処理する。

海洋汚染も118番

海へのゴミの投棄や海洋汚染、海での事件・事故を見かけたら118番通報をお願いします。

▼三河海上保安署

☎(0532)34局0118

守ろう! 電波のルール

電波利用環境保護周知啓発強化期間
6月1日～10日

電波を使うには原則免許が必要です。
電波のルールを守りましょう。

▶ 総務省 東海総合通信局
不法無線局の相談 ☎(052)971局9107
テレビ等の受信障害の相談 ☎(052)971局9648
HP <http://www.soumu.go.jp/soutsu/tokai/>

歴史探訪

クラブ

History Inquiry Club

其の
165



文化生涯学習課 ☎ 23局3635

FAX 22局3811

火山灰の恐怖

火山が多い日本では、火山の噴火による災害が深刻です。1990年代以降の長崎県雲仙普賢岳、北海道有珠山、東京都三宅島の噴火と火砕流、その後の泥流の被害の様子に衝撃を受けた人も多いと思います。

2014年9月の御嶽山の噴火により多くの方が犠牲となり、日本全国が深い悲しみに包まれました。悲しいけれど、日本の宿命なのかもしれません。渥美半島には火山がないので、比較的安心と思われるかもしれませんが、人が

● 始良Tn・鬼界アカホヤ火山灰の分布(町田洋文献などを参考)



住み始めてから大規模な火山灰が2回も降り積もったことがあるのです。

● 始良Tn火山灰

この火山灰は、野田町で見つかっています。通称「始良火山灰」とは、約2万5000年前に鹿児島県の桜島、鹿児島湾に囲まれた始良カルデラの噴火によつて噴出したものです。この大噴火による火山灰は偏西風に乗って、なんと東北地方南部にも降り注いでいます。中部地方でも10cmの厚さで積もっていることが確認されています。これは、旧石器時代の出来事です。

● 鬼界アカホヤ火山灰

この火山灰は、縄文時代早期(約7300年前)に九州の薩摩半島の南

沖約50kmにある鬼界カルデラの噴火による火山灰です。野田町山崎遺跡の発掘調査で、芦ヶ池の湖底にたまる火山灰が発見されました。そして、愛知県埋蔵文化財センターの分析によつて「鬼界アカホヤ火山灰」と確認されました。

● 火山ガラスの特徴で特定

火山灰に含まれる「火山ガラス」は、火山ごとに特徴があり、見分けることができます。この2つの火山灰は広域火山灰と呼ばれます。文字の記録のない時代の調査において、遠く離れた土地の地層が同じ時代のものか確認するための大事な証拠として、地質学や考古学で活用されています。

そんな便利な火山灰。今日まで保存されるためにはいろんな条件があります。降り積もった火山灰が風雨で失われないうちに、新しい地層が速やかに覆う必要があり、このような状態で残ることは珍しいことです。

長い間に圧縮されて10cmの厚さに

なった火山灰。降り注いだ当時は、もつと厚く積もっていたことでしょう。明るい空が見たこともないような灰色に変わる様子に、人々はおびえ、なすすべも無く時間がたつのをひたすら待っていたに違いありません。例え降り止んでも、灰に覆われた台地にあげんとしたことでしょう。これらの火山灰が人間の生活や自然に想像もつかない打撃を与えたことは間違いありません。

江戸時代の記録では、宝永の富士山の爆発で火柱が見えたといわれていますが、真偽は定かではありません。幸いにも、偏西風のため富士山の火山灰が渥美半島には積もることはありませんでした。

(増山)

今月の「表紙」

▼田原市で生まれて育つて数十年。まだまだ知らない場所がたくさんあることに気がきました。山に登ったり、海に出てみたり、最近になって渥美半島の魅力にどっぷりはまっている気がします。「みんな知らないけど、絶景が見られる場所」「廃れてきたけど、細々と続いている伝統」に心ひかれるこのごろ。(M)

【表紙の写真】清田池(清田校区・山田町)